

出演



真山明大



小松彩夏



大原研二

TOHOKU Roots Project  
DULL-COLORED POP



滝佳保子

劇団 S.W.A.T!



高野絹也

TOHOKU Roots Project



佐藤拓之



横道毅

花組芝居



佐々木翼



古川奈苗



庄野有紀



さいとうみき

優演隊  
W



一色彩世

劇団クワイニャオン  
W



小野崎有香

TOHOKU Roots Project  
オペラシアターごんにやく座  
W



阿部紗穂里

TOHOKU Roots Project  
W



高橋玄太

ほこほこクラブ



広瀬咲楽

劇団ハーベスト

【東京公演回替わりキャスト】

佐藤誓 岩手 仲坪由紀子 青森 小原雄平 電動夏子安置システム 宮城

富永雪耶 宮城 澤口渉 TOHOKU Roots Project / ロデオ★座★ヘヴン 岩手

...and more

【スタッフ】

舞台監督：坂野早織 (TOHOKU Roots Project・福島) + 高橋京子 (秋田)

振付：白神ももこ (モモンガ・コンプレックス)

舞台美術：袴田長武 (ハカマ団・秋田)

照明：森規幸 (balance, inc. DESIGN・宮城)

音響：島貫聡

衣装：阿部美千代 (株式会社 MIHY プロデュース)

歌唱指導：市川ウリ

照明部：菊池伸枝 (宮城)

宣伝美術・予告編映像：martrie (岩手)

絵：さいとうりえ

TOHOKU Roots Project 音楽：広瀬咲楽 (劇団ハーベスト・宮城)

制作：植松侑子 (合同会社 Syuz'gen)、坂野早織 (TOHOKU Roots Project・福島)

製作総指揮：坂野早織 (TOHOKU Roots Project)

企画・製作：一般社団法人東北ルーツプロジェクト・TOHOKU Roots Project

OTHER MEMBERS

田中宏樹 (TOHOKU Roots Project / 文学座・岩手)

澤口渉 (TOHOKU Roots Project / ロデオ★座★ヘヴン・岩手)

協力：(株)アミューズ、(株)ソニー・ミュージックアーティスツ、アスタリス、(株)エムエー・フィールド、グルーヴィー・エアー、ジャスティスジャパンエンターテインメント、アクトレインクラブ、公益財団法人南相馬市文化振興事業団 (南相馬公演) 他  
後援：IBC 岩手放送、石巻日々新聞社、岩手朝日テレビ、岩手日々新聞社、岩手めんこいテレビ、河北新報、郡山市教育委員会、テレビ岩手、テレビ福島中央、登米市教育委員会、福島民報、福島民友新聞社 他  
助成：仙台市市民文化事業団 (仙台公演) 他  
企業メセナ協議会助成認定事業

企画・製作：一般社団法人東北ルーツプロジェクト・TOHOKU Roots Project

TOHOKU Roots Project

大原研二・阿部紗穂里・小野崎有香・澤口渉・田中宏樹・高野絹也・坂野早織  
+ 2・東北ルーツ工房・東北ルーツ音楽室  
法人業務サポートメンバー：千葉乃梨子、井上麻美子

東京公演  
期間中に  
東北マルシェ  
開催!

TOHOKU  
Roots  
Project  
Vol.2

星

祭

に

あ

く

風

東北 TOUR 2018年3月17日[土]~31日[土]  
郡山・南相馬・登米・仙台・一関・大崎  
東京公演 4月4日[水]~4月10日[火]

〔脚本・演出〕小池竹見 (双葉姉妹)  
〔音楽〕立石一海



企業メセナ協議会  
助成認定活動

# 星の祭は風く風

脚本・演出 小池竹見（双数姉妹）  
音楽 立石一海

どとどど どとどど どとどど どとどど

「ケンタウルス、露をふらせ！」  
星祭の日は、あの日故郷を離れた人々も戻ってくる。

その昔、9月のはじまりの12日間。  
風のように現れては去っていった転校生は「又三郎」とあだ名された。  
ひそかに校庭の片隅に埋められたガラスのマント。  
30年を経て、掘り出すために集まった卒業生たち。

そしてまた、「又三郎」は風と共に現れる。

それからさらに30年。  
廃校がきまった小学校。星祭の準備に忙しい卒業生たち。  
青空にどとどどと吹いた強い風は今度はなにを連れてくるのだろう。  
大切なもの、なくしたものを、いつか見た景色。  
かつてみんなに見えていて、今は見えなくなったもの。

きのうまで丘や野原の空の底に澄みきってしんとしていた風が  
どとどどと鳴って、ほえてうなって、かけて行く。  
遠くでまた風が鳴った。

## 【はじめに】

2011年3月11日。  
TV画面の中の故郷から目を離さず見つめ続けていた者。  
目の前で割れていく地面に沈む車を見ていた者。  
避難した高台からなすすべなく呑み込まれていく街を呆然と見下ろしていた者。  
震える手で家族や友人に電話やメールをし続けていた者。  
ただひたすらに情報収集をし続けていた者。  
物資をかき集め故郷に向かい、言葉をなくした者。  
「帰ってくるな、こんな景色を見てはダメだ」と言われ帰れなかった者。

電話の向こうの大津波警報のサイレンが耳から離れない者。  
やめるはずだった芝居を続けていくことを選んだ者。  
すぐに戻って来られると信じて故郷を後にした者。  
一日一日を生き、故郷を離れて東京で芝居を始めた者。

私たちは、無力です。  
あの日、多くの東北を故郷に持つ人間が  
メディアを通じて流れてくる故郷の惨状に無力さを痛感しました。  
あの日、東北にいた人間も目の前の惨状になすすべもなく無力さを突きつけられました。  
6年半が過ぎた今、やはり私たちは無力のままです。  
今すぐ故郷の力になるものではないという事を知りながら、  
それでも演劇や音楽という手段を選び、物語を創っています。

私たちの演劇に、がれきを運ぶ力はありません。  
私たちの演劇に、高台を造る力はありません。  
私たちの演劇に、新しい住宅を作る力はありません。

それでも、私たちは此処にいる事を選びました。

続けて行く為にはどうしたらいいか。  
この規模の演劇の公演を東北に持っていくことの金銭的な困難、  
集客的困難を解決することは容易ではありません。  
考えるべきことは山のようにあります。毎回、きっと苦勞するでしょう。  
それでも、私たちは続けていくことを選びました。

東京で自信をもって面白いと言える舞台を創り、  
それを故郷である東北に届けること。  
東北公演を行うことで他の地域からも興味を持ってもらい、  
観客を呼び込み東北の「今」を知ってもらうこと。  
東京を活動拠点とする東北出身の俳優が  
地元での仕事を求められるようなシステムを作ること。  
育ててもらった故郷の東北にそれ以上のものを返すこと。  
その想いがあるからこそ出来る作品を東北のみならず、沢山のの人に届けること。  
そして、私たち自身が東北と「何か」を繋ぐ為のものとなること。  
ゆくゆくは震災以前から演劇過疎地であった東北に演劇という文化を根付かせること。

それが、TOHOKU Roots Projectで私たちがやりたいことです。  
それを目的に集まったメンバーにとっても、  
TOHOKU Roots Projectが自由に企画を出し合える  
各々のやりたいことを実現する場所に、  
そして故郷を想うことでその力を発揮出来る  
クリエイションの場所になればいいと思っています。

「今さら」ではなく「今から」東京から東北へ。  
地道にレールを伸ばし続けて、私たちの汽車を走らせ続けます。  
願わくば、沢山のレールが伸びて、沢山の場所へ届けられますように。

2016年春の「想稿・銀河鉄道の夜」は多くの方にご協力をいただき、  
支えていただき、応援していただき、公演を終えることが出来ました。  
福島で、宮城で、岩手で、沢山の「続けてよ」という言葉をいただきました。  
「新しい灯りがともったね」という言葉をいただきました。  
出演者が取材を受けた際に、様々な新聞やTVで  
「東北ルーツプロジェクトはずっと続けていきます」と宣言もしました。  
せっかくともった灯を消すわけにはいきません。  
「続けていく」という言葉を嘘にするわけにはいきません。  
私たちには現状を変える力はないけれど、新しい記憶を思い出を創り出すことは出来ます。  
故郷も、大切なものも、記憶も、思い出も、想いも、  
失い続けているのならば、一度のお祭りで終わらせずに新しいものを創り続けたい。  
その為に必要なことを考える。それが「想稿・銀河鉄道の夜」の  
旅の終わりに辿り着いた「答え」でした。

東日本大震災から6年半。公演時には7年を迎えます。  
私たちも、私たちの故郷も、まだまだ果てしない道のりの道半ばです。  
この長い旅路をそっと見守っていただければ幸いです。

## TOHOKU Roots Project

### 【TOHOKU Roots Projectとは】

2012年9月、東北出身の俳優とスタッフで自分たちが仕事のフィールドとする演劇を「被災地」と呼ばれるようになってしまった故郷に届ける手段を考えるべく、  
任意団体「東北演劇人企画（仮）」として企画立ち上げ。2015年9月、TOHOKU Roots Projectと名称を改め本格的に始動。  
2016年3月に福島・宮城・岩手の東北3県出身、及び東北にルーツを持つ俳優とスタッフで  
音楽劇「想稿・銀河鉄道の夜」東京公演を東池袋あうるすぽっと、南相馬・いわき・仙台・東松島・盛岡にて上演、  
2016年9月、継続した活動を続けるために一般社団法人東北ルーツプロジェクトとして法人化し、  
TOHOKU Roots Projectを「想稿・銀河鉄道の夜」参加メンバーにてカンパニー化。現在法人3名、カンパニー10名にて活動中。



ホームページ  
http://tohokurootsproject.wix.com/  
tohoku-roots-project

## 東北TOUR:2018年3月17日[土]～31日[土] 郡山・南相馬・登米・仙台・一関・大船渡

### 3/17[土]

郡山市民文化センター中ホール  
13:30開演(せいとう・一色)



〒963-8878 福島県郡山市堤下町1番2号 TEL:024-934-2288

### 3/21[水]

南相馬ゆめはっと大ホール  
13:30開演(せいとう・小野崎)



〒975-0008 福島県南相馬市原町区本町2丁目28番地の1 TEL:0244-25-2761

### 3/24[土]

登米祝祭劇場大ホール  
13:30開演(阿部・小野崎)



〒987-0511 宮城県登米市迫町佐佐ヶ丘30 TEL:0220-22-0111

### 3/26[月]

イズミティ21小ホール  
18:00開演(阿部・小野崎)



〒981-3133 仙台市泉区泉中央2-18-1 TEL:022-375-3101 (9:00～22:00)

### 3/29[木]

一関文化センター中ホール  
18:00開演(せいとう・一色)



〒021-0884 岩手県一関市大手町2-16 TEL:0191-21-2121

### 3/31[土]

大船渡市民文化会館リアスホール  
13:30開演(阿部・一色)



〒022-0003 岩手県大船渡市盛町下館下18-1 TEL:0192-26-4478

## 東京公演

### 4/4[水]～4/10[火]

#### 東池袋あうるすぽっと



ロビーにて  
東北マルシェ  
開催!

〒170-0013  
豊島区東池袋4-5-2  
ライズアリーナビル2F  
TEL:03-5391-0751



### 【チケット取扱い】

チケット一般発売  
2018年1月8日  
TRP チケットページ  
チケットコール  
03-4571-0773 (合同会社しゅつげん)  
FAX: 03-43330878  
(合同会社しゅつげん)

### 【チケット料金】全席指定

＜東京公演＞  
※受付開始 60分前、開場 30分前  
一般 ¥5000 U-25チケット ¥4000  
高校生以下 ¥3000  
＜東北公演＞  
※受付開始、開場 30分前  
一般 ¥3500 高校生以下 ¥2000

【お問い合わせ】一般社団法人東北ルーツプロジェクト 〒160-0022 東京都新宿区新宿7丁目26-7ピクセル新宿1F info.tohoku.roots.pj@gmail.com 03-4571-0773 (合同会社しゅつげん)